

# こころみ

第3号では「第7次学力向上に関する提言」の「確かな授業力を身に付け高める方法」について、各校の取組を紹介します。

## 授業力向上に有効だった取組

### 1 研究会までの丁寧な準備・流れ

大館市内の各校では、授業に向けて丁寧な準備及び事後研究会を行い、授業力向上に役立てています。

#### 小学校

- ・数回に渡る指導案検討会
- ・板書計画などでめあてとゴールの整合性  
→板書指導案
- ・模擬授業、事前授業などの実施
- ・付箋紙に感想
- ・板書の復元や写真での本時の振り返り
- ・協議を模造紙に整理し視覚化
- ・授業の反省や振り返り

#### 中学校

- ・教科の壁を越えたチームによる事前検討会  
→今年度の取組の重点についての検討  
→他教科からの実践から学ぶことも多い
- ・板書計画の提示  
→板書構成の再確認→「課題」「まとめ」の提示の徹底
- ・板書の復元による本時の振り返り
- ・授業の反省や振り返り

### 2 ワークショップ型研究会による活発な意見交換

ほとんどの学校で、ワークショップ型の研究会を取り入れ、活発な意見交換が行われています。

#### 工夫した取組

- 授業研究会の教科・領域等により協議の形態を変えている。
- グループ協議の司会・記録も輪番制にしている。

#### ワークショップ型研究会の大まかな流れ

- 1) 付箋紙に書かれた項目毎に整理する。
- 2) 課題に対する改善案を話し合う。
- 3) 模造紙を掲示して分科会の情報交換をする。

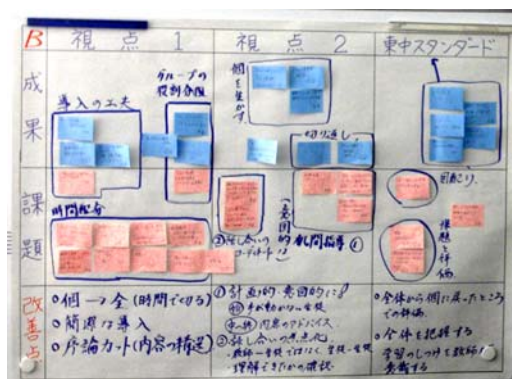
#### ★付箋紙には何を書くか

- ①授業の流れに沿って感想・意見を書く。
  - 授業の場面に当たって書きやすい。
  - 様々な観点から書ける。
  - △研究会での話し合いが焦点化されにくい。
- ②授業の視点をもとに成果や課題を書く。
  - 類似の意見をまとめやすい。
  - 研究の視点に切り込んでいきやすい。

#### ★初めは時系列が取り組みやすい



#### ★マトリクス型は協議の視点が明確になるため、話し合いが深まる



### 3 各校で抱える課題に対する研修会の実施

各校では、長期休業中を利用して、様々な研修会を行っています。中には、「学校支援講座」を活用して、専門的な指導を受けている学校もみられます。

#### 今年度各校で行われた主な研修会

- ・キャリア教育について
- ・電子黒板の活用法について
- ・教科学習について
- ・授業力向上について
- ・学習課題、発問について
- ・評価について
- ・視点に沿った実践例の持ち寄り
- ・個々の実態の把握と学習リーダーの育成
- ・評価問題や学習シートの検討
- ・言語活動の位置づけと充実
- ・ワークショップ型研究会について など

#### ～板書の研修会や板書を活用した研究会の取組～

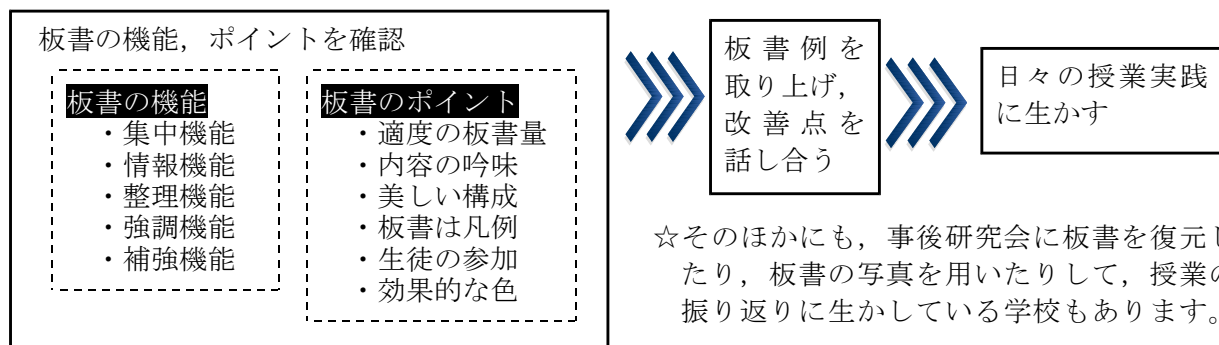
##### (1) 板書指導案を活用した授業研究会

<p>○児童の実態</p> <p>「なぜ漁師になりたいのか」という問いに対して、自分の考えをまとめることができない子どもがいる。</p>	<p>1 単元名 物語を読んで、人物の生き方について考えよう 海の命 (2/8)</p> <p>2 単元の目標 【読】登場人物の相互関係や心情、場面についての描写をとらえ、優れた叙述について自分の考えをまとめること。</p> <p>3 本時のねらい 太一が、なぜ漁師になりたいのか、父の考え方や生き方と関連させながら読み取ることができる。</p>
<p>○指導にあたって</p> <p>「はばからない」という意味をはじめに押さえる。「遠慮せずに堂々と」といった意味になるが、「そんなに漁師になりたい理由は何だろう。」ということ考えさせたい。</p> <p>幼い子ども時代の太一に影響を与える人物は父である。父の行動や言葉から、太一が父をどのように思っているのかを考えるようにする。</p> <p>父の行動、言葉に注目できるようにサイドラインを引かせるようにしたい。</p>	<p>時間</p> <p>5(まとめる) 15(考えを交流し、話し合う) 15(考えをまとめる) 5(音読) 2(めあて) 3(言葉の確認)</p>
<p>○反省</p>	<p>十二ノ八 「物語を読んで、人物の生き方について考えよう」 海の命 立松 和平</p> <p>めあて 太一は、なぜ漁師になりたいのか。 「はばからない」遠慮せずに堂々と。</p> <p>太一 ・海が好き ・父を尊敬している</p> <p>父 ・潮の流れが速くて、誰にももぐれない ・メーテルもある大物をしとめ ・海を自慢することなく ・海の恵みだからなあ ・不良の日が続いても、変わらない</p> <p>クエ 敵 ・父を殺した相手 ・自分の手で打たれた</p> <p>まとめ 太一は、父にあこがれて、漁師になりたいと思っていた。また、父を倒したクエをうちたいと思っている。</p>
	<p>評価 父の考え方や生き方と関連させながら、太一が漁師になりたい理由をノートに書いている。(ノート)</p>

★指導案を「板書指導案」にすると授業の流れが具体的にイメージしやすくなります。

##### (2) 板書研修会

初心に返って、もう一度「板書」を見直し、日々の授業に生かしていこうという取組が行われています。



☆今回の「こころみ」は、市内各校の授業力向上の取組について紹介しました。各校では他校の取組も参考にしながら、次年度の取組に生かしていただきたいと思います。